

中城村

まっかむだむい

題字：中城小六年 伊佐 帆南 ほんな

もっと 知ろう

みんなの議会



12月定例議会

一般質問

研修報告

②

③

④

第26号
平成22年12月議会

写真：中小・ハッピータイム（異学年交流）

平成
22年度

第7回定例議会(平成23年12月13日)

議案第34号
可決

平成22年度一般会計補正予算(第3号)

補正額： 1億3,567万5千円を追加
総額： 57億6,733万9千円

足りない分を補うために追加しました

議案第35号
可決

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額： 789万9千円を追加
総額： 21億7,662万円

村民の皆様が安心して医療を受けられるように追加しました

議案第36号
可決

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額： 121万2千円を減額
総額： 9,906万3千円

お年寄りの方が困らないように鋭意工夫と努力を講じます

議案第37号
可決

老人保健特別会計補正予算(第1号)

補正額： 10万1千円を追加
総額： 18万9千円

制度廃止に伴う清算業務

議案第38号
可決

公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

補正額： 138万を追加
総額： 3億4,007万2千円

村民の皆様の衛生環境に寄与します

議案第39号
可決

中城村水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支 補正額： 4万円
総額： 4億2,296万4千円

資本的支 補正額： 5万2千円
総額： 1億1,274万6千円

水質環境整備に寄与します

議案第33号
可決

農山漁村地域整備交付金(久場地区)事業計画

予定事業総額： 1億7,400万円

土砂崩壊防止工事を実施するための平成23年度新規採択要求

GA 一般質問 平成二十二年 十二月定例議会



預かり保育

仲 座 勇 議員

議員 預かり保育の現状を伺います。

教育総務課長 平成二十一年度から実施しています。

平成二十二年度中城幼稚園の三十人、津覇幼稚園が二十六人預かり保育を実施、大体十二時から一時ごろに預かり午後六時までです。両園とも定員は三十人です。

公共施設の用地の確保

議員 庁舎、中学校のプール、図書館等の将来建設予定のための用地を前もって取得するお考えを伺います。

教育総務課長 中学校のプール用地は役場、国道、村道に囲まれていて、用地を求めるとは厳しい。

総務課長 庁舎建設基金は平成二十一年末で一億円余りしかなく到底建設するには至らない。庁舎建設費用、場所、用地確保等を庁舎建設検討委員会で検討していきたい。

生涯学習課長 図書館の用地の確保は検討してない。今後複合施設ができた場合その中において図書室ができないものか検討する。

南上原小学校 (仮称)

議員 幼稚園の設置について再度検討を伺います。

村長 敷地内での幼稚園の設置は考えていません。国のほうでも幼保一元化が進んでおり、財政的な面も含めて、今後新設の幼稚園の公立は大変厳しい。公立での幼稚園は考えておりません。

議員 民間活用に伴う私立、公立幼稚園の毎月の保育料の差額を伺います。 教育総務課長 村内には学

校法人の幼稚園が二園あり平均値は私立三万四千二百七十円、公立は一万二千三百円、差額が二万二千四百円です。

議員 父母の負担(送迎等)を伺います。

教育総務課長 校舎建設期間、二ヶ年間は現分校での授業を予定して父母の負担等は従来と同じです。

議員 建設中の分校の教育環境を伺います。

教育総務課長 児童の教育環境の確保には万全を期し、安全対策には最大限努力してまいります。

議員 二ヶ年間大型の工事が始まりますが、安全、騒音、危険性を含め、特に不特定多数の人の出入りに自信を持って大丈夫だと言えるか。

教育総務課長 分校を使用しながら子供たちの安全、特に保安員等も配置し不特定多数が出入りできないような対策を講じる。

議員 校区(自治会)の住民と共に協議会設置の件を伺います。

教育長 地域から要望等がある際には、積極的に参加し地域に根差した学校づくりに生かしていきたいと考えております。



子宮頸がん予防

新 垣 博 正 議員

議員 子宮頸がん予防ワクチン接種が日本でも認可されました。注射による三回の接種で四万六千六万円が全額自己負担であり、公費助成をする考えはないか。

村長 予防できるがんという認識の下、金額や対象年齢など細かな部分を詰めて公費助成していきたい。

子ども政策

議員 保育所持機児童解消に向けた取り組みについて伺います。

村長 私の公約の一番目が子育て支援であり前回

行ってきた三人目からの保育料無料は継続して行きたいと思えます。待機児童が年々増えて行くのは目に見えており、待機児童家庭に何らかの措置支援が可能か十分検討したい。

議員 放課後学童クラブに関する法律は一九九八年に法制化されて十二年が経過し、当初の設置数の今は全国的に二倍、利用児童数は二・四倍という実態です。両親共働きの環境が背景にあると思

います。全国の学童クラブは公設八三%、沖繩県七%、本村は〇%です。全国の学童保育料平均、五千円未満が四二%。五千円から一万円未満が四六%であり、それに対し沖繩県は一万一六二円が平均値です。所得が全国一低い沖繩県で負担はトップクラスという矛盾を抱えており支援策の考えを伺います。

村長 需要の高まり、そして負担率が非常に大きいということであれば現場の状況を勘案しながら

耳を傾け政策を打ち出し ていきたい。

団体育成

議員 地域活動を底辺から活発にすることが本村に今、最も求められていると思えますが、各字単位で地域活動団体へ活動費を助成していく考えはないか。

村長 地域で青年会、老人会、婦人会も含めて支援出来る財政的な部分を確保できれば理想的な案と思えます。真剣に財源を検討する。

観光振興

議員 観光客十五万人構想の進捗状況は。

(注1)企業立地観光推進室長 本年度で九万人程度の見込みをたてています。主要な観光施設と連携が出来ていない、付帯する施設の未整備状況である中での実績です。観光パンプを観光関連事業所八社に配布。県外修学旅行生向けにもパンフを送付し状況を見ているところです。

(注)以下、企業・観光室長と略式表記

公共下水道整備



金城 章 議員

議員 公共下水道整備計画(上地区・久場地区)はどうなっていますか。

上下水道課長 上地区、下水整備計画については、今後、平成三十年度を目標に策定されました沖縄汚水再生注水プランの構想により、特定環境保全公共下水道で位置付けられています。整備のスケジュール等の設定を今後、検討、協議しながら進めていきたい。

議員 下地区下水道は進んでいますか、上地区

区登又、サンヒルズ、新垣、北上原地域も早めに計画を進めてほしいです。又、久場地区の下水道計画は国道三一九号ですが、(仮称)久場前浜原線への変更で、工事費の減になると思いますが変更は可能ですか。

上下水道課長 現在計画中の(仮称)久場前浜原線へのルートの変更しますと、工事費の縮減及び工期の短縮とか、現場の条件など優位性は明らかです。

村長 十分可能です。手持出しの多い工事です。工費の縮減が見込まれるわけですので、久場前浜原線は、村の市街化編入という観点からぜひやっていきたい工事です。

議員 安里区滑り災害対策の今後の行政の取り組みはどうなのか。

村長 この地域は、大変地滑りの心配される地域でありますので、

私は既に国土交通省、内閣府へ要請をさせていただきました。今後、も工費を国費でやってもらうための要請は今後も続けていきたいと思っています。

議員 災害地域に利用度もなく、実際、上物も作れない状態、何か公園とか別に考えられないか。

都市建設課長 県道から下の部分については、もし構造物を入れるとなれば、それなりの構造計算で、自己責任とすることが問われてくると思います。全くその部分に構造物が入れないという事ではないです。その辺は誤解のないようにお願いしたいと思っています。

他に第四次基本構想、行政懇談会、電源立地交付金事業についての質問もありました。

産・学・官の連携は



新垣 徳正 議員

議員 本村の発展、産業振興、あらゆる面で産・学・官の連携が重要視されています。本村の取り組みは。

村長 今現在進んでいる琉大農学部を中心とした部分と、観光科学学科での城跡世界遺産との取り組み等予算的な部分も含めて連携を図っています。

総務課長 農業面での新商品の開発、城跡をメインとした観光振興など包括協定と言う趣旨から村の事業の中で、何が琉大と連携していけるのか、各課で協議しながら探っていくと思います。

農林水産課長 沖縄バイオマス資源活用促進事業という事で、琉大も一緒になってキヤツサバを利用したバイオ燃料の調査研究が行われている。耕作放棄地を利用して、キヤツサバを植え付け、放棄地の解消にも繋がるとして検討がなされている。

議員 「沖縄中南圏域産業活性化協議会」参加の意義は。

企業・観光室長 広域的に協調体制を敷く事で、医療、観光、複合的な分野について産業創出をはかると言う目的で協議会が結成されている。企業立地法に基づいて村の産業振興の施策を盛り込み、村内企業が課税の特例や、低利融資など、もろもろの支援が受けられる有利性がある。村独自の事業計画との関連性では第三次基本構想計画に基づく施策に展開されます。

学校教育 児童生徒の学習活動で電力施設の活用が出来ないか。

企業・観光室長 マイナス一六二度の冷熱を利用して、南極体験が出来る

ような施設などの提案も行ったことがある。電力側としては、現在その計画は無いとの事、次期計画のほうに要請していきたい。具志川電力に於いては電気科学館という施設もあり、子供たちの学習活動に利用されている。吉の浦発電所へも何か出来る方向性は無いのか、三者協議会などで要請していきたい。

議員 学校施設の街灯設置について。

村長 以前からの懸案事項でもあるようですので、しっかりと調査して設置する方向でいきたいと思う。

観光関連 キャラクター「護佐丸」の着ぐるみ等を作成してのPR活動などの取り組みは。

企業・観光室長 着ぐるみについては、全国的に地域活性化などで脚光を浴びている事などは認識している。しかし、制作費が高額で昨今の財政状況も勘案しながら他の補助事業がないか検討してみたい。



安里 ヨシ子 議員

産地直売店

議員 平成十七年度、道の駅の調査研究を行いました。その結果について伺います。

村長 奥間の朝市を見習いいろんな面を勘案しながら、直売店の建設にこぎつけられたらと思っています。

企業・観光室長 調査報告書を作成、その中で組織体制、人づくり施設運営、管理体制、中城村のPR、供養体制、財政の問題等、第一次産業、産業全般の振興を図るため道の駅構想

として提言している。**議員** 無人売店を営んでいる人達との意見交換は？

農林水産課長 無人売店を営んでいる人達との意見交換はない。野菜農家を対象に農産物直売施設設置についてアンケート調査を実施し、今後の方向性として実態を把握しながら協議を進めていきたい。

地産地消

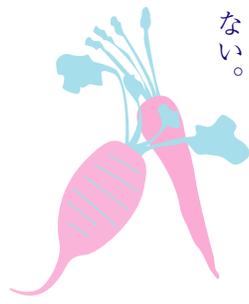
議員 学校給食に地元産の農産物を取り入れるよう何度か質問してきましたが、遅々として進まない。地産地消について村当局は、どのような構想を持っていますか。

農林水産課長 地産地消について平成二十一年、村長、JA、教育委員会、生産農家、給食センター各生産部会等意見交換を持っている。難しい課題がある。**教育課長** 学校給食法で、地域の産物を学校給食

に活用すること、創意工夫を地域の実情に応じて行うよう規定されている。その趣旨に沿って関係機関と連携をとりながら地産地消に努めていく。

遊休地解消

議員 遊休地の解消については、地産地消と直売店が非常に関連がある。ファーマーズに野菜を出す事で頭を使う。畑を拡大していく。地域で生産し地域で消費する。生産、加工販売までとり組めば村内でお金がまわる。村全体が潤う。地域の活性化に繋がっていく。直売所は情報交換の場として地域コミュニティの場として健康づくり、生きがいづくりとしてその効果ははかり知れない。



と致全 誘保 業境 企環



宮城 治邦 議員

議員 発電所建設に伴い周辺の景観が損なわれているが、対策をどう考えているか。

企業・観光室長 景観への影響に対する保全措置として、周辺に溶け込む景観形成、塗装等、構内に緑地帯を設置することで、住民には沖縄電力から説明がされています。

議員 電源立地地域対策交付金事業と環境問題の改善はリンクすると思うが。**企業・観光室長** 確かにリンクすると思います。当然、発電所建設に伴う環境変化等の問題が生じた場合は交付金などを活用して改善す

る必要があると思います。**議員** 環境保全協定書が三者で平成二十二年七月二十二日に締結されているが、締結前に住民説明会を持たなかったのは何故か。

住民生活課長 運転開始後の環境保全協定の締結については、沖縄県、村、沖縄電力と調整の上で締結していくということ、地元連絡協議会より承認報告を受けていることから、泊、久場自治会に対して環境保全

協定書及びそれに基づく確認書の写しを公文書で平成二十二年八月五日付け報告をした次第であります。

土砂災害と道路修繕

議員 平成二十年三月三十日に発生した土砂災害対策はどのような検討がされているか。

都市建設課長 沖縄県南部林業と治山治水事業の導入を協議、調整してきたが、地権者等の問題があつて導入ができない状況であります。他の事業メニューとして土木施設災害等又は土木関係で復旧ができないか今後、検討していきたいと思

議員 賀武道線及び久場崎線の数カ所に三センチ程の亀裂と側溝の破損があるが、認識しているか。

都市建設課長 定期的な道路パトロール等で現場は確認しております。今後の対策として、亀裂を早く修繕補修を検討していきたいと思っております。

議員 賀武道線及び久場崎線の道路亀裂と土砂災害との因果関係を調査した事はあるか。

都市建設課長 調査を入れたことはありません。土砂が区画整理地内に流入する可能性があるので、早めに対策を講じていきたいと考えています。

決議要請に関する回答受理拒否

議員 電源立地地域振興策事業協定書の完全実施について、久場自治会の要請趣旨に沿って何時までに真剣に対応と回答ができるか。

村長 私どもとしましては真摯に、真剣に回答を致しました。それについてはそれ以上でもそれ以下でも御座いませぬ。回答はもう済んでおります。

中城村総合計画



伊佐 則勝 議員

議員 次期第四次総合計画の策定にあたり所見を伺います。①第三次総合計画は、あと一年有余になつていますが、策定に向けての進捗はどうか。②「住民参画」と「地域コミュニティの声」を前提で進めるべきと思うが、当局はどのように考えているか。③基本施策ごとに、明確な目標値を掲げた総合計画体が必要であり、財政計画や村長のマニフェストをリンクさせることが重要だと思ひます。当局はどのように考えているか。

村長 行政懇談会等を行う中で、住民の生の声を聞かせて頂くことや、アンケート調査などの実施を通してハード事業、ソフト事業についてバランスをとりながら

ら、しっかりとした指針を具体的に示し住民ニーズに最大限に答えていけるような施策、そして計画づくりをしていきたいと思ひます。

企画課長 行政懇談会を進めているところであり、住民意見を分析しながら、次期計画に採用していきたいと考えます。向こう十年の基本構想を立てる中で、基本計画を受けての施策体系の事業内容について、数値化する努力をしたい。

議員 行政懇談会への、今後の住民参加促進が求められると思うがどうか。

企画課長 全体的に参加者は各字とも少ない。今後工夫が必要と考える。

議員 地域住民の役割や関与について、策定計画にどう反映させるかについて聞かせてください。

企画課長 どのような工夫で、どう吸い上げられるかについては、調整してみたいと思ひます。

議員 やはり住民参画が大切なことですので、地域住民とともにお互いに知恵を出し合いながら立派な中城村の将来ビジョンを形づくっていくことができるよう要望します。

道路・河川行政

議員 村道奥間中央線で河川に架かる橋の老朽化がみ

られます。橋梁補修工事が予定されているが、工事着手時期と工期について伺います。

都市建設課長 橋梁補修工事は業者に十一月十六日に業務発注済で平成二十三年二月二十五日に完了予定です。

議員 橋梁補修工事がなされる奥間中央線ですが、本線は地域住民の生活道路です。工事期間中は可能な限り、片側通行帯を設けるなどの配慮をお願いしたい。また、関連して今回補修工事される河川現場に流れ込むメーガラーがあります。そのメーガラーは河川整備がされなく、大雨の影響で隣接する農地まで浸食し、ビニールハウス施設の土台まで損壊させる農業被害が発生しています。早速、現場調査の上、予算措置を次年度予算に組み込みないか配慮をお願いしたい。



未整備河川による農地被害状況

報酬の見直しが必要



仲 眞 功 浩 議員

議員 一部事務組合の管理者・議員の報酬が「二重取り」ではないかと、問題になったことがあり、私もずっとそう思っております。村民の理解の得られる額への見直しが必要と考えますが、村当局の見解を伺う。

総務課長 事務組合は地方自治法に基づいて定められた特別地方公共団体で、管理者、組合議員にはそれぞれ役割が与えられ、報酬はその役割に対するものであり、二重報酬ではないと認識をしております。

ます。また、報酬の見直しは、各事務組合が自主的に判断して検討されるべきであると考へております。

議員 後期高齢者医療広域連合の報酬体系は、年俸制であり月給制ではない。私達の一部事務組合に比べると相当低い額です。しかし、審議予算額や議員規模を見るとずっと大きい。今の厳しい財政状況において、(一部事務組合の報酬額が)本当に適正で村民の理解を得られる額であるかと疑問を持たざるを得ない。これは真剣に考えていただきたい。

村長は地産地消の明確化を

議員 学校給食において地場農産物の利用に努めることが明確に位置づけられ、また、食育基本法の食育推進計画では、平成二二年度までに食材ベースで三十%以上の目標が定められているが、本村の

状況、問題点、今後の取り組について伺う。

教育総務課長 食材の総量ベースで言いますと、平成二十一年度の実績で五、五二%です。問題点は関係機関との連携強化、安定供給品目の掘り起こしなどで、今後の取り組みとしては、

安定的な確保を図る供給システムの構築、関係機関との情報交換、そしてコーディネート機能の構築等です。

議員 本村の特徴を生かしたものを取り入れながら、早急に取り組んでいただきたい。学校給食に地産地消を導入するには、学校給食における地元農産物の使用の方針を首長が明確化し、行政主導の推進体制をつくること大切と言われております。是非、村長のリーダーシップを発揮していただきたい。



住宅政策 (農振見直し)

新垣 光栄 議員

議員 住宅地の促進に取り組むことは考えていないか。

村長 今、模索している段階であります。

議員 私が以前から提案している優良田園住宅促進制度がありますが、村長として取り込む意思があるか。

村長 議会の承認を得て、条例の制定をする必要性なども精査してやっていきたいと思っております。

光栄 これは田園都市にマッチした秩序ある住宅地が確保できる政策だと思いますので、次年度予算化に取り組んで、ぜひ進めて頂きたい。

吉の浦発電所 (協定書)

議員 運行開始の予定は。企業・観光室長 平成二十四年が一号機の運行となっております。

議員 建設に伴う振興策の協定書の拘束力はあるのか。

村長 地域住民との話し合いでやっていくという意味での紳士協定です。

議員 地元(地点)が中城村、周辺地域は北中城村、西原町、宜野湾市、沖繩市、交付された金額は。

副村長 中城村に八億二千万、周辺地域4市町村で八億二千万分配された。

議員 地元(地点)は中城村全体でよろしいですか。

副村長 法律の解釈からはそのようなと思います。

議員 電源交付金は村の予算ですか。

副村長 法律を解釈した場合は、中城村全体の予算だと思っております。

議員 予算の決議権は議会のみが有する権利ですか。

副村長 予算は当然、議会の決意がないと執行できません。

議員 このことを踏まえ、電源交付金は村の予算で、執行部の権限で執行できないし、協定書は法九十六条に反し拘束力はない。地点は中城村、協定書を結ぶに当たっては、全自治会と一緒にやらないといけないと思うが。

副村長 次の段階において、今の反省をしながらじっくり検討をしていかなければならない。

学校行政

議員 中学校、両小学校の学力等の現状はどのように把握しているか。

教育長 小学校の学力は全国平均に近づいているが中学校につながついていないという課題があります。文化、スポーツ面は、小学校、中学校ともに活躍し実績をあげている。

議員 子どもたちの成長は指導者で変わります。優秀な指導力のある先生方を中城に集めてくるのが教育長の一番の仕事だと思うが。

教育総務課主幹 教育長が直接、県の総合教育センターまたは、中頭教育事務所への要請し教育面での充実に向けて取り組んでいる。

議員 教育長も学校現場に行き指導力発揮していただきたい。

施政方針における 各事業の進捗状況



与那覇 朝輝 議員

議等検討していきたい。

議員 第四次国土利用計画についてはどのようになっているか。

企画課長 基本的に総合計画に則しなければならぬもので、基本構想がある程度固まり次第、並行して総合的に進めていき、平成二十三年度までに策定したい。

議員 農業農村整備事業管理計画は、いつ策定される、その概要はどのようなものか。

農林水産課長 平成二十二年度に五年計画で策定され、主な目標項目は①農業生産基盤の整備、維持管理②農業経営の近代化を促進して農業構造の改善を図る③都市近郊型の農業を推進し、農業所得の向上を図る等です。

議員 「歴史の道」沿線へのトイレ設置計画はどのようになっているか。

生涯学習課長 自治会(新垣)と設置場所等調整済であり、年内着工をめざしたい。

議員 区画整理事業における保留地処分状況はどのようになっているか。

都市建設課長 今年度の保留地処分金は昨日現在一億四千万円となっており、計画目標の二億円は達成見込みです。

議員 景観計画はどのようになっているか。

都市建設課長 今年の一、十二月で現況調査等行い、来年二月までに計画の方針を検討し、三月中で計画を策定したい。

議員 「平和の波」の移設修繕事業はどのようになっているか。

福祉課長 十二月一日付で工事契約を済ませており、今月中には着工予定で。



福祉センター (平和の波)

県民とともに行動!

STOP TPP交渉参加反対!

STOP 沖縄県民大会

私たち暮らしにかかわるTPP（環太平洋協定）への参加に反対する県民大会へ参加しました。（那覇新都心公園）



1月29日、集会へ参加する議員団

TPPって何?

環太平洋連携協定（トランス・パシフィック・パートナーシップ）の略で2006年にニュージーランド、シンガポール、ブルネイ、チリの4カ国で締結され、その後アメリカ、オーストラリアなどを加えた9カ国で協議進行している関税撤廃の例外を認めない**完全自由化を目指した貿易協定**のことです。

今後の議会のため学ぶ議員

平成23年2月17日(金) 浦添市でだこホールにて、町村議員研修会に参加、今後の行財政運営、予算、自治法、多くを学んだ議員メンバー



議会だより編集委員



金城	新垣	新垣	仲真	伊佐	新垣
章	博正	徳正	功浩	則勝	光栄

編集後記

昨年来の異常気象の中、新しい年を迎えましたが、例年に無く寒波が押し寄せている今日この頃ですが、村民のみなさまには寒さに負けず健康で元氣にお過ごしできることを祈念申し上げます。

平成二十三年最初の十二月定例会を中心にした「ぎかいだより」をお届け致します。

今号の「ぎかいだより」がみなさまのお手元に届くころには、春の暖かさを迎え、平成二十三年度一般会計予算案などを審議する三月定例会開会の間近の頃になるかと思われまふ。

昨今、「自治体運営（経営）のあり方」や「自治体に求められる政策形成能力」の課題など将来的な地方分権をも見据えた研究提案が顕著になつた時代状況を感じまふ。

当然、地方議会にも同じく求められる事を痛感しております。私たち議員も村民の付託を受けた重みを充分に自覚し、お互いに資質向上に努めながら、村民とともに協働して村民福祉の向上・住んで良かった中城、住んでみたいと思う、とよむ村創りの為に尽くして参りますので、今後とも村民のみなさまのご指導・ご助言をお願い申し上げます。

(伊佐 則勝)

まっちょい
びんどあ〜

村民の皆様への議会傍聴を歓迎します

次の定例議会は3月7日～25日の予定です。